

# 平成26年度 事業報告

平成26年4月1日から  
平成27年3月31日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

## 目 次

I 現況	1
1 事業	1
2 役員等	1
3 評議員	1
4 顧問等	2
5 事務局	2
6 地区組織	2
7 事業資金	3
II 理事会・評議員会等	4
1 理事会	4
2 評議員会	4
III 事業実施の概要	5
1 一般事業	5
2 普及事業	7
3 振興事業	7
4 助成事業	8
IV 登記事項、届出・報告事項	1 1
V 附属明細書について	1 2

## I 現況

### 1 事業

本会の定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 団体の行う吟剣詩舞に関する協力および援助
- (2) 吟剣詩舞に関する研究
- (3) 指導者の養成ならびに研究会および講演会等の開催
- (4) 発表会およびコンクールの開催
- (5) 吟剣詩舞功労者の表彰
- (6) 会誌および図書の刊行
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

### 2 役員等（平成27年3月31日現在）

#### 代表理事

会長 菅原道雄(雪山)

#### 業務執行理事

副会長 山岸明子(吉見芳蘭)、多田 満(正満)、益中 満(鵬山)

専務理事 広渡英治

常任理事 杉浦和子(容楓)、宮田義治(実龍)、武田万義(禧洲)、前島征夫(昊龍)、  
松岡 滋(蒨洲)、野中秀偉(秀鳳)、佐々木晃(嶺城)、八代正輝(輝霊)、  
増田忠和(鵬泉)、松岡和子(吟琇)

#### 理事

原 真人(青柳芳寿郎)、小野久仁子(光翠扇)、横田 博(岳理)、  
廣重幸雄(光風)、阿部徳司(昭馨)、星野光世(紫虹)、前田嘉弘(霊泉)、  
志塚 巖(心將)、井上精一(游洲)、田中建治(岳藤)、伊藤征方(晃績)、  
山路泰弘(泰洲)、佐々木経子(朝鵬)、安倍嘉一(秀風)、石川兼道(春洋)、  
佐々木貫二(一景)、藤岡孝義(鶴伯)、三田和氣(梅鳳)、中山健次(賢風)  
(理事34名)

#### 監事

沼崎 富(星翁)、日置則男(彩峰)、原口 孝(岳孝) (監事3名)

### 3 評議員（平成27年3月31日現在）

平形 亨(鴻成)、北川寿文(哲水)、櫻田須賀子(榊原静慧)、  
多田稔雄(正稔)、小林 久(北鵬)、林 久雄(鳳俊)、田村和夫(天聖月)、  
森川祐幸(精修)、富田純造(正親)、土方友一(春城)、椎原哲子(大雅)、  
渡辺虎雄(櫻虎)、荒瀬孝之(龍鳳)、三橋陸雄(吟煌)、横山寿宏(寿城)、  
畑中悟利(景心)、田邑喜代子(嘉風)、中尾克久(仁泉)、梶 京子(凰映)、

芳倉清隆(清峰)、勝部昌雄(吼嶺)、若原將昭(峰洲)、大橋康身(宗風)、杉山広子(翔鴻)、梅澤正春(昌峰)、河田千春(鶯泉)、神蘭弘己(心星)、秀平昌己(克泉)、阿部歆宗(吟鳳)、足立 勝(育城)、小野忠義(雪琇)、小山 豊(岳洸)、辻島利隆(鑑靈)、中澤治重(春誠)、佐藤彰徳(翔風)、中川裕子(義若)、西山 孝(穂敬)、甕 勝(経風)、山内直之(正風)、松島康夫(南洲)、川原宣子(靈宗)、徳田良子(寿風)、森山清文(清明)、小澤武久(田中照風)、北村秀男(容山)、勝矢清平(藤河賀久清)、縄本欣秀(東嶺)、宮野圭司(鶴誠)、柴崎澄生(澄山)、鈴木邦彦(慧山)、早淵 肇(鯉將)、山田則夫(静將)、後藤ひろみ(月戈)、丸山恵子(冽風)、山口世津子(嶺津)、田尻誠行(向山侑吟)、横山真吾(精真)、辻 美智子(芳翠)、大西 守(清山)、笠井俊生(栄俊)、平瀬国夫(邦洲)、宮本 守(浩風)、師岡光芳(祐学)、山本憲一(兼正)、菊川禎恵(八千穂)、毛塚静子(静精)、古庄法男(吟法)、山下勝昭(明穂)、赤木隆彦(隆山)、鈴木 治(永山)、浅田愛子(聖風)、熊本佳党(慧山)、黒田利忠(秀月)、森宗満治(呀城)、奥脇朝雄(嶽津)、久保田昌代(昌風)、薦田欣吾(南尚)、中谷一壽(将鳳)、八文字勝利(剛洲)、早淵淳子(河野鶴聲)、安永利一(江悠)、森川忠義(賀秀心)、竹内淳雄(岳南)

(評議員 83名)

#### 4 顧問等 (平成27年3月31日現在)

イ. 顧問	14名
ロ. 元老	32名
ハ. 相談役	417名
ニ. 参与	829名

#### 5 事務局 (平成27年3月31日現在)

所在地 東京都港区 3-4-10 虎ノ門35森ビル 7階  
職員 6名

#### 6 地区組織

本会には51の公認都道府県吟剣詩舞道総連盟 (以下「公認総連盟」) があり、それぞれの地区に以下の7つの地区連絡協議会を設けている。( ) 内は公認総連盟名

- (1) 北海道地区連絡協議会 (中央、南部、北部、東部、北紋：5地域)
- (2) 東日本地区連絡協議会 (茨城、神奈川、東京、埼玉、千葉、群馬、栃木、山梨、新潟、山形、秋田、岩手、福島、宮城、青森：15都県)
- (3) 中部地区連絡協議会 (愛知、三重、静岡、岐阜、長野、富山、石川、福井：8県)
- (4) 近畿地区連絡協議会 (奈良、滋賀、大阪、京都、兵庫、和歌山：6府県)
- (5) 中国地区連絡協議会 (岡山、山口、島根、鳥取、広島：5県)
- (6) 四国地区連絡協議会 (高知、愛媛、徳島、香川：4県)

(7) 九州地区連絡協議会（熊本、大分、福岡、佐賀、宮崎、長崎、鹿児島、沖縄：8  
県）

## 7 事業資金

本会の事業資金は、各種事業活動による事業収入、公益財団法人 日本財団からの助成金、寄附金並びに資金運用の果実等による。

## II 理事会・評議員会等

### 1 理事会

#### (1) 第4回理事会 平成26年6月7日開催

開催場所 笹川記念会館 4階第1、2会議室（東京都港区）  
決議事項 平成25年度事業報告及び決算、役員・専務理事の選任、専務理事への退職慰労金等  
報告事項 業務執行状況の報告  
出席等 理事出席34名、欠席1名、監事出席3名

#### (2) 第5回理事会 平成26年9月30日成立

議決方法 書面による決議の省略（定款第32条第2項に基く）  
決議事項 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」附則の追加  
出席等 提案書に対し、理事34名全員の同意の意思表示及び監事3名全員から異議がないことの意味表示が書面により得られ、提案を可決する理事会の議決とみなされた。

#### (3) 第6回理事会 平成27年3月7日開催

開催場所 笹川記念会館 4階第1、2会議室  
決議事項 平成25年度事業計画書及び収支予算書等の一部変更の承認、平成26年度事業計画書及び収支予算書等の承認  
報告事項 業務執行状況の報告  
出席等 理事出席33名、欠席1名、監事出席3名

### 2 評議員会

#### (1) 第2回評議員会 平成26年6月14日開催

開催場所 笹川記念会館 4階第1、2会議室  
決議事項 平成25年度事業報告及び決算等、役員・評議員の選任、専務理事の選任、専務理事への退職慰労金等  
報告事項 第4回理事会での決議事項等  
出席等 評議員出席68名、欠席17名

#### (2) 第3回評議員会 平成26年10月24日成立

議決方法 書面による決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基く）  
決議事項 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」附則の追加  
出席等 提案書に対し、評議員84名全員の同意の意思表示が書面により得られ、提案を可決する評議員会の議決とみなされた。

### Ⅲ 事業実施の概要

#### 1 一般事業

##### (1) 組織化促進事業

全国7地区連絡協議会の運営がそれぞれの書記局において行われるとともに、本部において全国地区連絡協議会代表者会議、支部において将来ビジョン会議を開催した。

##### イ. 各地区連絡協議会の運営

◎各地区連絡協議会執行部会議等の開催

◎地区内の公認各吟剣詩舞道総連盟の組織運営への協力

◎地区内会員の掌握と会員間諸問題の調整

◎平成25年度の全国吟詠コンクール、全国剣詩舞コンクール、全国剣詩舞群舞コンクール及び全国少壮吟詠家審査コンクール地区大会の主催並びに全国決勝及び決選大会の運営主管

◎夏季吟道大学の地区内参加希望者の推薦並びに全国名流吟剣詩舞道大会及び全国吟剣詩舞道大会など振興会行事への協力

##### ロ. 全国地区連絡協議会代表者会議の開催

◎第1回地区連絡協議会代表者会議

日時 平成26年6月7日

場所 笹川記念会館 4階第5会議室

出席者 各地区議長、幹事長、書記長など25名

議題 平成26年度事業実施等に関する連絡会議

◎第2回地区連絡協議会代表者会議

日時 平成27年3月7日

場所 笹川記念会館 4階第5会議室

出席者 各地区議長、幹事長、書記長など29名

議題 平成27年度事業計画等に関する連絡会議

##### ハ. 将来ビジョン会議の開催

◎北海道地区 平成26年10月12日（北海道）

◎東日本地区 平成26年6月9日（東京都）

◎中部地区 平成26年4月19日（愛知県）

◎近畿地区 平成26年9月2日（大阪府）

◎中国地区 平成26年7月10日（広島県）

◎四国地区 平成26年7月12日（愛媛県）

◎九州地区 平成26年4月11日～12日（熊本県）

##### (2) 協力援助事業

吟剣詩舞優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行った。

##### イ. 傘下団体の行う行事に対する協力援助

団体の行う吟剣詩舞に関する行事90件に対し、後援名義の貸与等を行うなど協力

した。

ロ. 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門に対する協力援助

青少年吟詠剣詩舞道育成基金運用の一環として、第38回全国高等学校総合文化祭（いばらき総文2014）吟詠剣詩舞部門大会の協賛を行うとともに、同吟詠剣詩舞部門大会参加校生徒並びに引率者に対する旅費、宿泊費の援助を行った。

日時 平成26年7月30日

場所 結城市民文化センターアクロス 大ホール（茨城県結城市）

出演者 111校、257名

負担金 1,999,174円

ハ. 青少年育成推進のための協力援助

◎青少年大会開催に対する協力援助

青少年吟詠剣詩舞道育成基金運用の一環として、以下の青少年対象の大会等を開催する公認総連盟に対し協力援助金（各100,000円）の交付等を行った。

第25回岡山県吟詠剣詩舞青少年大会

第35回栃木県高等学校吟詠剣詩舞発表大会等

第56回愛媛県青少年吟詠剣詩舞道大会

※コンクール各部門優勝者に別途会長賞（レプリカ作成費用26,080円）を授与

第17回神奈川県幼少青年吟詠剣詩舞発表大会

第10回東京都幼少青年吟詠剣詩舞発表大会

子ども吟詠剣詩舞道祭（熊本県）

計 626,800円

◎青少年育成推進のための協力援助

青少年吟詠剣詩舞道育成基金の運用の一環として、奨励のための青少年の表彰に関し、本年度コンクールの幼年、少年、青年の部上位入賞者に副賞の奨励金（優勝30,000円、二位20,000円、三位10,000円）の授与を行った。

平成26年度全国吟詠コンクール決勝大会奨励金 180,000円

平成26年度全国剣詩舞コンクール決勝大会奨励金 360,000円

計 540,000円

ニ. 国民文化祭・全国吟詠剣詩舞道祭に対する協力

第29回国民文化祭・あきた2014「全国吟詠剣詩舞道祭」の開催に協力した。

日時 平成26年10月26日

場所 男鹿市民文化会館（秋田県男鹿市）

来場者 1,300名（出演者814名、観覧者486名）

(3) 研究会開催事業

吟詠剣詩舞に関する専門委員会の開催を行った。

◎第29回吟詠専門委員会

日時 平成26年8月8日

場所 成田東武ホテルエアポート2階会議室（千葉県成田市）



出席者 吟詠専門委員 8名ほか、オブザーバー 12名

◎第40回剣詩舞専門委員会

日時 平成26年9月13日

場所 笹川記念会館4階第5会議室

出席者 剣詩舞専門委員 12名ほか、オブザーバー 3名

◎第41回剣詩舞専門委員会

日時 平成27年2月6日

場所 東横イン 成田空港 3階会議室（千葉県成田市）

出席者 剣詩舞専門委員 11名ほか、オブザーバー 3名

(4) 功労者表彰事業

イ. 平成26年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰を行った。

平成26年9月6日に第28回吟剣詩舞大賞選考委員会を開催し、吟剣詩舞文化賞及び吟剣詩舞功労賞に次の5氏を選考し、第46回全国吟剣詩舞道大会の式典において表彰した。

吟剣詩舞文化賞 押阪 忍 フリーアナウンサー・岡山県

吟剣詩舞功労賞 矢萩 保三 吟詠家・神奈川県

〃 八代 輝霊 吟詠家・宮崎県

〃 増田 鵬泉 吟詠家・大阪府

〃 飯森 寿岳 吟詠家・長野県

2 普及事業

(1) 海外普及事業

吟剣詩舞の国際親善交流事業を協賛した。

(2) 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行った。

イ. 日本吟剣詩舞振興会Webサイトのリニューアルと運用促進を図った。

ロ. 吟剣詩舞の広報に関する団体等との協働推進を図った。

ハ. 新聞、雑誌などへの広報活動並びに掲載誌等の購入を行った。

ニ. 吟剣詩舞普及用パンフレットの作成頒布の準備を行った。

3 振興事業

(1) 発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会を開催した。

イ. 秋篠宮妃総裁恩賜財団母子愛育会奉賛・平成26年度全国名流吟剣詩舞道大会の開催

日時 平成26年5月5日

場所	さっぽろ芸術文化の館・ニトリ文化ホール（北海道札幌市）
来場者	2,300名
参加者数	330名
後援	文化庁、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、NHKほか報道各社
奉賛等	恩賜財団母子愛育会（奉賛金1,800,000円）

## （2）吟詠教本発行事業

吟詠統一教本(既刊図書)を作成配布した。( )内は前年度実績

・吟剣詩舞道漢詩集（絶句編）解説書	……………	155部(220部)
・吟剣詩舞道漢詩集（律詩・古詩編）解説書	……………	125部(130部)
・吟剣詩舞道漢詩集（続絶句編）解説書	……………	256部(202部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（絶句編）	……………	617部(869部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（律詩・古詩編）	……………	313部(506部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（続絶句編）	……………	675部(757部)
・幼少年向けテキスト『はじめての吟詠』	……………	315部(460部)

## （3）会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに教養誌として、月刊「吟剣詩舞」を発行した。

平成27年3月31日現在の有料発行部数は、8,538部（昨年度末9,098部）である。

## （4）教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集（CD、カセットテープ）の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集（同）の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行った。( )内は前年度実績

教材としての吟詠集の製作頒布数

・平成27年度吟剣詩舞道吟詠集CD	……………	4,684本(4,296本)
・平成27年度吟剣詩舞道吟詠集テープ	……………	987本(1,315本)

教材としての伴奏集の製作監修並びに振興会指定数

・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数	……………	998本(1,155本)
・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数	……………	63本(88本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数	……………	830本(715本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数	……………	25本(63本)

## 4 助成事業（日本財団助成事業）

### （1）吟剣詩舞普及振興のための全国吟剣詩舞道大会の開催

#### イ. 事業の実施内容

「第46回全国吟剣詩舞道大会」の実施

（1）日時：平成26年11月9日

(2) 場所：日本武道館（東京都千代田区）

(3) 入場者数：4,299名

(4) 内容

- ①全国吟詠合吟コンクールの開催
- ②全国コンクール優勝者演舞の開催
- ③吟剣詩舞特別企画構成番組の開催

□. 事業目標の達成状況

吟剣詩舞界最大のイベントである「全国吟剣詩舞道大会」を、第1回から伝統的に開催されてきた日本武道館で2年ぶりに開催した。吟剣詩舞道の普及振興と一層の芸術的向上を図るとともに、全国的レベルの向上と芸術的向上を図ることができた。

八. 事業費総額及び助成金等

事業費総額	64,978,327円
助成金	51,982,000円
自己負担分	12,996,327円

(2) 吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催

イ. 事業の実施内容

(1) 開催時期

- ① 平成26年度全国吟詠コンクール  
………平成26年4月1日～平成27年3月31日（決勝大会 平成26年9月15日）
- ② 平成26年度全国剣詩舞コンクール  
………平成26年4月1日～平成27年3月31日（決勝大会 平成25年9月14日）
- ③ 第43回全国少壮吟詠家審査コンクール  
………平成26年10月1日～平成27年3月31日（決選大会 平成27年3月8日）

(2) 場所

- ① 全国吟詠コンクール 決勝大会 笹川記念会館
- ② 全国剣詩舞コンクール 決勝大会 ”
- ③ 全国少壮吟詠家審査コンクール 決選大会 ”

(3) 参加者

- ① 全国吟詠コンクール(参加者総数約18,000人)
- ② 全国剣詩舞コンクール(参加者総数約8,500人)
- ③ 全国少壮吟詠家審査コンクール(参加者総数約5,500人)

(4) 内容

各コンクールは、年齢により吟詠コンクール及び剣詩舞コンクール共に6部門に分けて実施し、日頃の吟剣詩舞道精進の成果を競う場とし、優れた吟剣詩舞道者の発掘を行った。少壮コンクールは、35歳から55歳までの吟詠指導者の研鑽の場とし、優れた吟詠家を選出する公の機関とすることができた。

□. 事業目標の達成状況

各コンクールそれぞれボランティアによる大会役員に支えられ県単位の第一次予選、全国7地区単位の第二次予選及び全国大会として決勝、決選大会を行ったものである。近年の少子化等に伴い会員の

減少が特に顕著にあらわれているが、コンクールを通じて幼少年の育成に力をいれ、確実に出場者を確保するとともに、これを更に推し進めることができた。また、少壮コンクールにおいては、少壮吟士としての称号を付与するための厳しい審査基準及び年齢制限を設け、吟詠指導者の公の選出機関としての役目を引き続き果たすことができた。

#### 八. 事業費総額及び助成金等

事業費総額	17,586,324円
助成金	13,200,000円
自己負担分	4,386,324円

### (3) 吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催

#### イ. 事業の実施内容

##### (1) 日時

- ① 夏季吟道大学(以下「吟道大学」)…平成26年7月19日(土)～20日(日)
- ② 少壮吟士夏季吟詠特別研修会(以下「少壮研修会」)…平成26年8月9日(土)～10日(日)
- ③ 剣詩舞道大学…平成27年2月7日(土)～8日(日)

##### (2) 場所

- ① 吟道大学……………成田東武ホテルエアポート
- ② 少壮研修会……………成田東武ホテルエアポート
- ③ 剣詩舞道大学……………東横イン成田空港

##### (3) 参加者

- ① 吟道大学……………139名
- ② 少壮研修会……………61名
- ③ 剣詩舞道大学……………117名

##### (4) 内容

吟道大学及び剣詩舞道大学は全国7地区連絡協議会から選ばれた指導者を対象に、少壮研修会は少壮吟士称号取得者を対象に、吟剣詩舞の幹部指導者の養成研修会として開催した。

#### ロ. 事業目標の達成状況

全国から選ばれた吟詠の指導者を受講対象者とした吟道大学、少壮吟士称号保持者の研修を目的とした少壮研修会、全国から選ばれた剣詩舞の指導者を受講対象者とした剣詩舞道大学を開催し、吟剣詩舞の現状の把握と一層の芸術的向上を図るとともに、普及振興のための研究討議を行い、全国的レベルでの向上を図ることができた。

#### 八. 事業費総額及び助成金等

事業費総額	13,669,012円
助成金	9,440,000円
自己負担分	4,229,012円

#### IV 登記事項、届出・報告事項

##### 1 登記事項

平成26年6月30日

・評議員、理事変更

平成26年11月19日

・評議員変更

平成27年3月6日

・理事変更

##### 2 届出・報告事項

平成26年6月29日

・事業報告等の提出（内閣府）

平成26年12月3日

・変更の届出（「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」に関して附則の追加）  
（内閣府）

平成26年12月3日

・変更の届出（評議員、理事変更）（内閣府）

平成26年12月13日

・変更の届出（評議員変更）（内閣府）

平成27年3月28日

・変更の届出（理事変更）（内閣府）

平成27年3月31日

・事業計画書等の届出（内閣府）

## V 附属明細書について

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成27年6月  
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会